



体育館棟

旧制石川県立金沢第2中学校の後継校である金沢錦丘高等学校は、昭和38年に全日制高等学校として発足した。翌年に現在地に校舎を建設、移転し、金沢市南部の閑静な住宅街に位置する伝統的な基幹校として現在に至っている。平成16年4月、同校は県内初の併設型中高一貫校として新たに中学校が開校されることとなり、総合的な施設整備を行うこととなった。



中学校棟：オープンスペース



体育館棟：柔道場



中学校棟








敷地の有効活用：狭小な敷地状況、既設校舎を利用しながらの計画であるため、計画建物を敷地北側に集約

中庭の吹抜け：採光、通風はもとより、校舎全体の一体感を演出

景観との調和：装飾を抑え、矩形を連続

色彩計画：深みや重厚さを感じさせる茶系色を基調

安全確保：敷地左側を工事用通路として全期に渡って固定

-  LCC：建設発生土を他工事の埋め戻し土に転用
-  体育館において、県産能登ヒバを使用
-  地下に雨水貯留槽を設置し、雨水を便所洗浄水として中水利用
-  屋外からの給気は地下ピットを経由させ地熱を活用
-  屋上に太陽光発電設備を設置
-  床タイル
-  身障者用エレベーター・多目的便所を設置

DATA

金沢市窪地内 平成16年10月～平成18年1月 10,598㎡
体育館棟 RC造：5F 6,664㎡
中学棟 RC造：5F 3,934㎡
(管理特別教室棟) (RC造：5F) (7,446㎡)
(普通教室棟) (RC造：5F) (3,851㎡)